

2026年2月1日 顯現後第四主日礼拝説教 「生き続ける御体」(マタイ11章20~24節)

○マタイ4章16節のみことば

預言者イザヤはガリラヤの人々について、こう語っていた。
「暗闇に住む民は大きな光を見、死の陰の地に住む者に光が射し込んだ。」
※みことばどおり、イエスは、ガリラヤのカファルナウムに住んで、神の救いを宣べ伝え始められた。(4章13,17節)

今日のみことば：マタイ11章20節

「イエスは、数多くの奇跡の行われた町々が悔い改めなかつたので、叱り始められた。」

①数多く：【原語】最も多く

②悔い改める：(今までとは)違った考えをもつ、心を入れ替える

③叱る：(それは善くないことだと)責める、咎める

「コラジン、a. お前は不幸だ。 ベトサイダ、お前は不幸だ。」(21節)

a. 【原語】あなたに災いあれ、憐れみが届かないように

b. ティルス、シドン(22節)：異邦人の地にある二つの町

☆コラジンの人々らは、異教徒よりも頑なだと見做された。

○マタイ11章23節のみことば

「カファルナウム…お前のところでなされた奇跡が、c. ソドムで行われていれば、あの町は今日まで無事だったにちがいない。」

c. 欲深き罪のゆえに、神から滅ぼされた町 (参照：創世記19章)

→背徳と墮落の象徴として、聖書が繰り返し述べている。

「d. 裁きの日にはソドムの地の方が、お前たちよりまだ軽い罰で済む」(24節)

d. すべての人が神の裁きを受けるとき、最後の審判

★救いを拒む者に下る罰は、ソドムと比べ物にならぬほど厳しい。

※神の御前では、悔い改めないことが、最も重き罪となる。